

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名 子ども支援事業所 にじいろきゃんぱす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	グループで活動	コロナ対策含め、2グループで活動している為、適切である。
	2	職員の配置数は適切である	6	1	職員の公休を対応するための配置人数としている。	配置人数より多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		5月移転予定
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	朝礼時に業務共有し、改善点や振り返りを行っている。	意見を言い合える職場の雰囲気にしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アンケート実施	保護者の意見・ニーズを業務改善に反映していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ブログ・インスタ配信	保護者の不安解消の為、事業所利用児の様子や活動を配信している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		外部評価は、行っていない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		動画研修	全員が受けられるように、動画研修を行った。コロナ感染予防対策にもなった。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			作成時にケース会議実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	5		標準化されたアセスメントツールがないので、行動や状況判断のために考えていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			月ごとに立案し、朝礼・会議で担当者が共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			利用児を中心としたプログラムを立案できるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		土曜日プログラム 長期休暇プログラム	季節の行事・平日・長期休暇に応じたプログラムを組みなおしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			集団活動(コミュニケーション等)個別活動(社会性・学習)を組み合わせ、個々に合った計画を作成できるように配慮している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼・支援会議	毎日、利用児の前日の様子を共有し、支援の振り返りや課題を検証・改善している。支援業務分担・送迎等の確認も行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		紙面化して、全員に確認できるようにしている。	支援終了時は、勤務時間が変則制なので厳しい為、翌日の朝礼時に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			その日のうちに、提供記録に記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			一ヶ月に一度、放課後等デイサービス計画の評価を行っている。必要な利用児は、モニタリングを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7		ガイドラインを引用	ガイドラインに沿った放課後等デイサービス計画を作成するように心掛けている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			必要に応じて、学校や相談支援員・保護者を交えたケース会議を実施している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		送迎時に対応	保護者の同意を得て、学校との情報共有を送迎時に行っている(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1			医療的ケア児を受け入れてない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7				保護者の希望や学校側の要望など必要に応じて、就学前に情報提供書を作成して面談している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3			現在いないので、今後必要に応じて考えていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1			同じ法人内に、児童発達支援事業所や相談支援事業所・就労移行支援事業所があるため、連携を取りやすく、研修を一緒に行ったり、助言等も受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3			現時点では、行っていない。児童館や図書館などは、使用させて頂いている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7				自立協議会こども部に所属している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				電話や送迎時に行ったり、必要に応じて事業所内相談を行っている。コロナでできない時もあった。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2			今後、支援できるような体制を整えていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				契約時に行っているが、丁寧に説明できるように配慮していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				相談を受けた場合、適切に対応し、職員で内容や今後の支援を共有し、上司にも報告・助言を求めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4			コロナの為できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				上司に報告し、助言を求め迅速に対応している。上司が対応するときもある。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			きやんばすだより・法人ホームページ・インスタ	きやんばすだより・ブログ・インスタで発信している。
	35	個人情報に十分注意している	7				就職時に法人との契約あり
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				保護者には、ペーパーでのお知らせを出している。文字やイラストを使用するときもある。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	2	5			法人での感謝祭などで地域住民を招待しているが、コロナで中止をした。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		各マニュアル作成	契約時に行っている。いつでも見れる状態にしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		避難訓練計画書	防火管理者が計画し、訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		動画研修	コロナのため、法人で動画研修を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	身体拘束マニュアル	必要な利用児がいる場合、身体拘束マニュアルを保護者に説明し、放課後等デイサービス計画に記載し、保護者の同意を得る。身体拘束をした場合は、記録を取ることも説明する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			医師の指示書はしていないが、保護者の聴き取りで対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		リスク委員会	法人にリスク委員会があり、毎月開催し検討会を行っている。

